

原発に頼らない 社会の確立を



38年目の4.26チェルノブイリデー

脱原発をめざす 18 団体が呼びかける「4.26 チェルノブイリデー市民集会」が開催されました。チェルノブイリ原発事故による甚大な放射能汚染と人的被害を目の当たりにした日本政府は、原発を全廃すべきでした。

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災によって東京電力福島第一原発は炉心溶融事故を起こし、多くの人々が故郷を追われました。元日に起きた能登半島地震は、国が進める高レベル放射性廃棄物の深地層処分計画及び原子力推進が市民の命を脅かす最悪の政策だと白日の下に晒しました。私たちはあきらめません。国家が同じ過ちを繰り返すことを許しません。集会のスローガン「いらない原発! 変えようエネルギー政策 ~ 許さない原発再稼働! くり返すなチェルノブイリ・福島~」。集会とパレードで力いっぱい訴えました。

〈原発ゼロ・市民エネルギー委員会 富塚とも子〉



大通公園 6 丁目での集会後、パレードを行いました

INDEX

持続可能な活動のため
組織活動推進会議を新設します 3

産地に伝えよう! わたしたちの想い
生活クラブ米 4~5

第 18 回 GMO フリーゾーン運動全国交流集会 in くもと
食の未来を考えよう 6

資源を大切に使い捨てにしない循環型社会をめざして 7

生活クラブ Wind

組織活動

4月の一斉チラシまきを全支部が行い、各地域から加入の問い合わせや資料請求の情報が届きはじめています。

本部組織活動推進会議では、支部の拡大活動をバックアップするため、インスタグラムとYouTubeを媒体としたWeb広告を5月いっぱい流しています。各支部でも、展示説明車あみーか号の運行を予定しています。消費材を実際に手に取って買うことができるので、お友達や近所の人を誘って来てくださいます。たくさんの方に生活クラブを知らせていきましょ。



消費委員会

2024年度の豚肉利用結集活動「豚プロジェクト」が開始しました。「生活クラブの豚肉が美味しい理由を知りたいから」「消費材と市販の豚肉はどこが違うのかを知りたい」「なんだか楽しそうだから」など、参加のきっかけはそれぞれ違いますが、豚肉への理解を深めたいという思いは共通しています。1回目の会議では、好きな調理法、わからないこと、豚肉の利用を増やすためのアイデアなどを出し合い共有しました。

豚肉の取り組みを始めて40年の今年、鶴平田牧場と12支部18人のメンバーは取り組み意義を再確認しながら楽しく活動を展開し、発信していきます。

石けん運動委員会

合成洗剤の問題提起がされてから半世紀が過ぎましたが、「無リン」「コンパクト化」「植物由来原料」と形を変えて市場は合成洗剤でいっぱいです。家庭から出される有害化学物質は合成洗剤の成分がその6割を占めています。

環境汚染の加害者とならないように、人体と環境に

より負荷のかからない石けんを利用しませんか？委員会では毎回石けんを使いながら学習し、石けんを上げる活動に生かしています。特性を知るとコツがつかめ、石けんはぐつと使いやすくなります。さあ、講座や実演で一緒に学びましょ。



サステイナブル委員会

委員会ではサステイナブルな活動を広めるために、出前講座をおこなっています。支部や班会、くらこみ、くらボで活用してもらうツールで、イベントの一部としても受け付けます。

講座は、①グリーンシステム(Rびん・ビッキング袋・牛乳パック)②みつろうラップ作り③ふるしき活用④保温調理の4つです。各講座ではRびん返却の意義、アンペアタウンなどの電気使用量を減らすアイデアや生活クラブでんぎについての話もします。

地球過熱化を止めるため、ごみや二酸化炭素排出量削減を考えませんか？講座への申込みをお待ちしています。

組織 (4月度)

組合員数 12,309 名
加入 53 名 脱退 69 名

共同購入 (5月度)

利用高 2億2,856万7,364円
1世帯当たり 18,569円

グリーンシステム (4月度)

Rびん	回収	16,682 本
	回収率	79.0 %
紙パック	売却金	8,370 円
	回収率	81.7 %
ビッキング袋	回収率	23.3 %

福祉基金 (4月度)

賛同者数 2,996 名 賛同率 23.0 %

エコロ (4月度)

加入者数 3,929 名
加入 6 名 脱退 8 名

生活クラブ共済 ハグくみ (3月度)

加入件数 1,440 件

CO・OP 共済 (3月度)

保有件数	たすけあい	3,808 件
	あいぶらす	1,885 件

電気の共同購入 (2月)

〈供給契約者数〉 760 名

〈電源構成比 速報値〉

2月は約10割の電力を再生可能エネルギー発電所からお届けしています。

4月の理事会から

● 2023年度監査報告書が監事会から提出され承認しました。

● 6月11日の総代会に向け、議案書と第十三次中期5年計画を作成しました。また、当日の運営に関する役割を確認しました。各支部の議案書読み合わせは5月29日から行います。

● 集団フッ化物洗口が札幌市立小学校4校をモデル校に実施されることを受け、該当校のある支部組合員を対象にフッ化物の危険性を伝えるリーフレットの配布を承認しました。

● 連合会で取り組んだ「能登半島地震復興支援カンパ」の使途案が報告され、被災した提携生産者へのお見舞い等の内容を確認しました。北海道単協では3月のOCRで、164万3500円が集まりました。

● 4月15日に生活クラブ共生会2024年度総会が京王プラザホテル札幌で行われ、新会長にオシキリ食品(株)遠藤一彦氏が就任されました。

持続可能な活動のため 組織活動推進会議を新設します

チュプ4月号P2でお知らせした組織活動の新体制について

組織活動推進担当理事 片桐 葉子

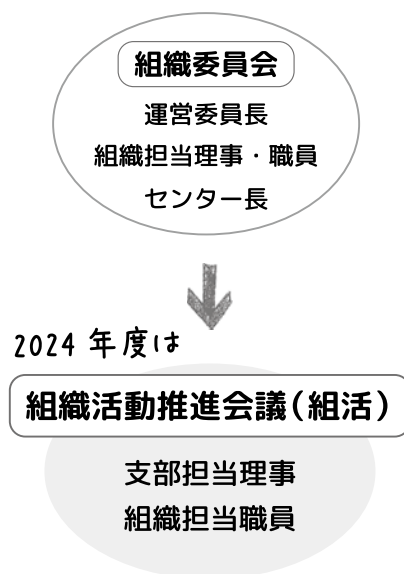
組織活動の現状

生活クラブの基本である組合員活動はこれまで、各支部の運営委員会で運営委員長をリーダーとして進めてきました。そして運営委員長が参加する組織委員会は、支部間での情報交換や本部委員会の情報を共有し、支部を運営する組織活動や仲間を増やす拡大活動を行うために、運営委員長、組織担当理事・職員、各センター長で構成し、会議を行ってきました。組織委員会では近年活動に参加する人が少なくなる中、くらぶラボの新設やまちづくり拠点の提案など、支部活動の活性化にも取り組んできました。

しかし長く続いたコロナ禍で組合員同士のつながりが薄くなり、社会情勢が不安定なため活動に参加する人がますます減少し、2024年度は支部のリーダーである運営委員長がいるのは18支部中2支部のみです。

組織活動推進会議とは

このような流れを受け、2024年度は本部体制を見直すこととしました。これまでの運営委員長、組織担当理事・職員、各センター長で構成した組織委員会から、支部担当理事、本部組織担当職員で構成する会議、組織活動推進会議（組活）として理事会のもとに立ち上げます。組活では各支部の活動状況の共有や情報交換をしながら、全体の組織活動、拡大活動を計画、提案し、各支部運営委員会とともに活動を進めていきます。



持続可能な活動のために

組織活動推進会議は、運営委員の少ない支部でも全体的な組織活動と連動することで活動を組み立てやすくし、ともに活動を進めます。その中で活動に参加する組合員が増え、運営委員が増え、支部のリーダーとなる人が出てきやすい環境にしていくことが新体制をつくる目的です。

生活クラブの基本である支部活動が活性化するよう、今はまだこれで完成ではなく、組合員が参加したくなる活動の体制をこれから作っていきます。



わたしたちの想い

生活クラブ北海道 30 周年記念誌で、とんぼの会前会長 平澤一彦さんはその時の気持ちを記しています。昨年 10 月の米登録率は 22.6%、前年は 1 がひとりでも増えるよう各支部でも呼びかけています。(本部消費委員会)

交流を重ねながら育んできた私たちのお米

消費委員会担当理事 石黒 真理

私たちは、滝川市江部乙町えべおの「とんぼの会」が作るお米を共同購入しています。カタログからわかるように、生活クラブ北海道では「とんぼの会」以外のお米の取り組みはありません。

1988年の提携時、生活クラブが江部乙町農協(現 J A たきかわ)に求めたことは、ただひとつ「交流をすること」でした。交流を続け購入量を増やすことが生産者の励みになり、より良い米づくりにつながると考えたのです。

当時の北海道米はお世辞にも美味しいとは言えず、「厄介な米Ⅱやつかい道米」と揶揄されたほど。道民でさえ道産米をほとんど食べていなかった時代に「食味の良さではなく、素性がわかるお米を食べたい」という私たち組合員の声の思いを受けとめてくれました。農協の青年部が中心となり、93年に農薬や化学肥料使用の自主基準値を設け、96年に「とんぼの会」を結成しました。

初代会長の荻田勝さんは、

まず何からはじめようかと考え、会員の各農家に「『とんぼの会』の看板を作ろう」と呼びかけたそうです。そして、何度も江部乙に足を運び、時には泊まり込みでやって来る組合員たちと交流をした当時のエピソードを懐かしそうに話してくれました。それぞれが工夫をこらして作った看板は、今もとんぼの会の各農家で見ることができます。

実際に会って話すということ

「とんぼのゆめ」は、組合員の一般公募で2006年に決定したネーミングです。当人気味のササニシキやコシヒカリなどの銘柄に左右されるのではなく、「とんぼの会がつくったお米(生活クラブの提携米)を私たちは食べていこう!」という強い決意が込められています。

体験田での田植え(6月)、生き物調査(7月)、稲刈り(9月)のほか、バケツ稲づくりコンテスト、生産者交流会やわくわくまつり、本部や支部が主催

する「米交流会」など、生産者と組合員の交流機会はたくさんあります。2020年からの数年間、コロナ下で交流が制限された際には工夫してオンラインでの交流会を開催しました。その経験から、あらためて実際に会って直接話をするのが大事だということを互いに実感しました。

食べる約束 米登録

これまでは新米切り替え前の「10月」のみだった米登録を、今年は田植え時期の「6月」にもおこないます。米登録をすることは、「年間これだけの量を食べます」という私たちの食べる約束。生産者にとって組合員が年間に食べる量がわかることは、安心して意欲を持って米作りを続ける力になります。

11月以降に加入した方は初めての米登録の機会です。時々注文しているけれど、4月からお弁当を作るようになったなど、ライフステージの変化でお米の消費が増えた方にも米登録をおすすめします。これから交流を大切に、生活クラブ米を食べ続けていきましよう!

米登録をして 生活クラブ米を食べよう!

6月と10月に米登録をおこなっています。詳しくは、5月3週の生活クラブニュースをご覧ください。

私たちが継続利用していくことで、より良いお米づくりを支えていきましょう!



いよいよ今年も米作りがスタートしました。ぜひ6月に米登録をして、田植えツアーにも参加してください。待ってます!

とんぼの会 4代目会長
はにぶち 埴淵 義和さん



産地に伝えよう！

2011年10月に生活クラブ米の予約登録制度をはじめました。その翌年の「食べる側の思いが私たち生産者へ伝わり大きな励みとなりました」と22.8%でした。生活クラブ米を取り組む意義に賛同して登録をする組合員

顔の見える関係づくり



1988年の提携から、組合員が産地に足を運び交流し、食べ続け、協議を重ねて課題をひとつずつ解決してきました。種もみを化学合成農薬を使用して消毒するのでなく、お湯に浸して消毒する「温湯消毒^{おんとう}」もそのひとつ。見学会に参加した消費委員長から報告してもらいます。

これからも食べ続けよう！

恵庭支部 消費委員長 須藤 香



繁忙期にも関わらず、埴淵会長、榎本副会長、岩崎副会長、JAたきかわの職員はじめ、たくさんのメンバーが集まってくれました

4月13日、とんぼの会のメンバーとの交流も兼ねた温湯種子消毒見学会に今年も参加しました。温湯消毒は、種もみを60℃のお湯に10分間浸けることで表面に付着しているカビや病原菌を薬剤を使用せずに殺菌するクリーンな防除法です。生活クラブ米の自主基準は、農薬成分回数8回以内（北海道の慣行栽培では平均22回といわれています）。そのために除草機を使用したり、こまめに稲の様子を観察しタイミングを見極めて農薬の使用を最小限に抑えるなど、ほかにもさまざまな努力をされています。その努力に感謝して、これからも作り続けてもらうために食べ続けようと思いました。



温湯消毒で減らせる農薬成分回数はたった1回。こうした作業を積み重ねて、生活クラブ米はつくられています

とんぼの会の名前の由来は、とんぼの幼虫ヤゴがたくさん生息する健康で安全な田んぼにしたいという生産者たちの思いが込められているそうです。田植え、田んぼの生き物調査、稲刈りは子どもたちも参加できます。私たちのお米が育っている田んぼを見に行き、生産者と交流しませんか。

見直そう！ お米の良さ



お米は消化しやすく、身体を冷やしにくい食べ物です。効率よくエネルギーを作り、体温や代謝を保ちます。炭水化物・たんぱく質・脂質の3大栄養素に加え、ビタミン・ミネラル・食物繊維といった微量栄養素を含んでいます。

おにぎりはカロリーが低く
腹持ちが良い



腸、スッキリ！



どんなおかずとも相性が良く
抜群の栄養バランス



米100gに含まれる栄養成分



農林水産省 HP より転載

食の未来を考えよう



生活クラブでは、GMOフリーゾーン運動に取り組んでいます。遺伝子組み換え作物を「作りたくない」「食べたくない」という、生産者・消費者の共感を広げる活動です。日本では、^{あまがさ}天笠啓祐さんが代表をつとめる「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」の呼びかけから始まり、現在その登録地は全都道府県におよびます。5年ぶりの実開催となった全国集会の様子を報告します。

〈2/24～25 主催：第18回 GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in くまもと実行委員会〉

私たちにできること

ゲノム編集食品申請1号となった
ゲノム編集トマトが、開催地である熊



「くまもとのタネと食を守る会」の活動
在来野菜のタネを持ち帰り、育てた野菜を美味しく食べ、タネを採って返却する「タネの図書館」

「生命をつなぐ食べものを守りたい
今そして未来のために行動を!! 熊本から届けよう。私たちが願う食の安心安全」をテーマに2日間行われました。初日は、鈴木宣弘さん(東京大学大学院教授)と山田正彦さん(弁護士・元農林水産大臣)による基調講演「食とタネの危ない現状」とパネルディスカッションや各団体からの報告などがあり、登録農地は1年間で392ヘクタール増えて10万7311ヘクタールになりました。2日めは学校給食を考えるシンポジウムが行われ、両日とも会場は満席で熱気に包まれていました。

本県内3カ所の圃場で栽培されています。今回の受け入れ団体であるグリーンコープ生協くまもとの小林香織理事長からは、「関心を持ち続けること」「注視していくこと」「発信していくこと」を生協の役割と考え、県や自治体に「遺伝子組み換え作物反対署名」を届けたことやゲノム編集トマト無償配布を阻止する活動をおこなったことなど、生産者と消費者が直接つながることの大切さが報告されました。また、人にもすめている小さな活動として、スーパーやお店で「この食べもの、遺伝子組み換え食品使っていないかな」とまわりの人や店員に聞こえるように「ブツブツ言っ、誰でもできる「ブツブツ作戦」を紹介すると会場から笑いが起こりました。

食べものの本来の姿やあり方

パネルディスカッションでは、コーディネーターを務めた天笠さんが「そもそも食べものは太陽がもたらしてくれる恩恵なので農業は本来お金がかからない。工場でわざわざ遺伝子操作をし、微生物が生成したタンパク質を用いて代替肉をつくるなど、そんなものは食べ物ではないし、私たちはこんなものは食べたくない! 遺伝子操作なんかしない自分たちの世界をつくって

北海道での活動



2023年度にGMOフリーゾーン宣言をした仁木町の今井ファーム(鶴田農園グループ)を訪問。生産者の今井裕輝さん(右から3人目)と本部消費委員会メンバー ※登録面積: 4ヘクタール 提携作物: ブルー

こうぜ! というのがGMOフリーゾーン運動なんです」と話していました。国による遺伝子操作食品の推進に対抗するGMOフリーゾーンの拡大と、その輪を広げる私たちの地道な取り組みが、地域の農と食文化を守り、食の安全と環境保全につながることを全国の仲間たちと共有しました。懇親会でみんなで輪になって踊った「サンバおてもやん」からは、元氣と笑顔と勇気をもたらしました。

(消費委員会担当理事 石黒真理)

資源を大切に

使い捨てにしない循環型社会をめざして

サステイナブル委員会

サステイナブル委員会の活動は生活クラブでんき、保温調理などの省エネ、豊かな海を育むフィービラの森づくりなど多岐にわたります。その中心にあるのがグリーンシステムで、目的はごみを減らすことです。未来世代により良い地球を残すため、できることから始めてみましょう。

※ Garbage Reduction for Ecology and Earth's Necessity (地球生態系のためのごみ減量) の頭文字 **GREEN** から名づけられました



一緒に活動しませんか？

委員7人と担当職員で家庭紙の生産者
コアレックス道栄(株)を見学

グリーンシステム

毎月、各センターのRびんやP袋、支部から出された牛乳パックの回収数を昨年同月と比較し、話し合います。数字が芳しくない場合は原因を探ります。回収の意義を組合員に知らせるため、ニュースの発行やイベントを企画しています。

出し方ルールを
動画で紹介



500mLのびんは道内で
循環しているよ♪



エネルギー消費量や
CO₂排出量も削減

【 Rびん 】 生活クラブ北海道がRびんの取り組みを始めて31年になります。回収→洗淨→生産者で補充と繰り返し使う(Reuse)素晴らしいしくみです。醤油などの超軽量びんは、大切に扱うと約50回使える耐久性を持っています。



【 牛乳パックなど 】 再生紙に生まれ変わり、消費材のトイレトペーパーやティッシュペーパーになります。紙パックを回収に出したらそれで終わりではなく、使うことでリサイクルの輪が完成します。

回収は月1回
第1週



再生紙 100%

古平の海を育む
森づくり



紙パックの売却金で、フィービラの森づくりをすすめています

【 ピッキング袋 】
P袋 配達時に消費材が入っている袋です。回収して再び同じ製品をつくる「水平リサイクル」によってP袋からP袋へ再生されます。組合員が声をあげ、年月をかけ試行錯誤して作った画期的なシステムです。

循環の
ため
に
は
回
収
率
ア
ッ
プ
！



生活クラブでんき

サステイナブルな未来をつくるため、使う電気を減らすと同時に原発や化石燃料に頼らない社会をめざしています。再生可能エネルギーを9割以上使用している生活クラブでんきに今すぐ切り替えましょう！



information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15 TEL 011(887)8891 FAX 011(887)7229
発行日 2024年5月20日 編集 広報委員会 W・C・O・P・R・S・E・P・O



も～ MORE 2024 年4月スタート♪ ミルクアクション

酪農家のみなさんを応援する取り組みをはじめました。生活クラブ牛乳1本購入につき1円を積み立て、生乳生産に必要な資材の購入に充ててもらいます。牛の健康を第一に考え飼料や飼育環境、殺菌温度にもこだわった品質重視の低温殺菌牛乳。共同購入で飲み続ける組合員一人ひとりの小さな思いが生産者への大きな力と応援になります！毎月3万本を目標に、生活クラブ牛乳の価値を知って飲む仲間を増やしましょう！



4/3 消費委員長が牧場を訪問

さらに **6・7月は牛乳強化月間！**

ぜひ参加してね♪

講演 生活クラブ牛乳の価値と取り組みの意義

日 時 6月28日(金) 10:00～12:30
場 所 札幌エルプラザ 2階環境研修室
内 容 講師は、生活クラブ連合会畜産課 鈴木氏。生活クラブ牛乳について話を聞きます。

ニュース
6月1週

つながる ミルクメッセージアクション

実施期間は6月1日～7月26日。酪農家のみなさんに感謝の気持ちを届けましょう！メッセージは絵や文字を配達便で送るか、または写真や動画をデータで送信ください。

ニュース
5月3週

主催 本部消費委員会

2024年度 生活クラブ総代会

日 時 6月11日(火) 10:00～12:30
場 所 札幌パークホテル 3階パークホール
内 容 2023年度の事業・活動報告・決算と、2024年度の活動方針・事業計画及び予算について討議し、承認を行います。総代以外の組合員のために傍聴席を設けています。

組合員と生産者でつくりあげる わくわくまつり 2024

リアル開催！

10月20日(日) 生産者も来るよ！
グランドメルキュール札幌大通公園(旧：ロイトン札幌)

まつりのロゴデザインを募集します。あなたのオリジナルデザインでまつりを盛り上げませんか。happyで元気なデザイン、お待ちしております！

応募締切 5月31日(金) 問合せ：本部 水戸まで

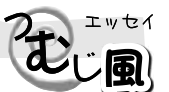
実行委員会メンバーも
募集中♪

まつり実行委員会

本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>



あと、3年6カ月

手稲支部 渋谷 映

3年6カ月後、私は60歳になる。赤いちやんちゃんを着て家族と写真を撮る、と思っていた。ある日、ひらめいた。真っ赤な振り袖もいかな。どうせなら自分で縫ってみようかな。とりあえず布を買おう、と。準備だけはあつという間にとこのつた。55才で両袖、56才で表布、57才で襟をつけてなどと、何もわからないくせに予定を立てた。

55才になり、さあ始めようと思った矢先、右手に不具合が…薬指、中指、親指と次々に痛くなって、結果、手術した。あきらめの悪いのが私。1年遅れで袖を縫い始めた。和裁は難しい。3冊の本とYouTubeが先生だ。しかし、先生たちとはなかなか気が合わない。運針もできない。根性は少しある。3年6カ月後、着物になっているかはわからない。もしかしたら、着物に裏はないかも…。どんな還暦になっているか、今から楽しみだ。

組合員のエッセイを募集します。4000字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスか業務便で送ってください。



道産 関係材使用
道産間伐材を配合した紙を使用しています